

堤防高は5メートルで

鮪立 漁港 住民の署名簿添え要望

県が海拔9・9メートルの
高さで計画している鮪
立漁港の防潮堤整備に
ついて、住民代表が2
日、県気仙沼地方振興

事務所を訪れ、海拔5
メートルの高さでの整備を求
める署名簿を提出した。
住民らは、過去の津
波の痕跡で最も高かつ
た値は、唐桑町史など
から明治三陸大津波の

約4メートルであることを指
要望書を9月に提出し
ている。

同じ内容で賛否を問
うた署名活動は、市外
で暮らす住民を含め、
成人602人を対象に
11月に実施。73%にあ
たる441人分の署名
が集まった。

この日は鮪立自治会
(鈴木好典会長)と、
自治会の内部組織であ
る鮪立まちづくり委員
会(鈴木伸太郎委員
長)の代表8人が訪
れ、鈴木会長から水産
漁港部の小嶋志朗漁港
整備専門監に署名簿を
手渡した。

住民は「そのままな
意見がある中で、5メ
ートルは住民の合意を採った
結果。鮪立がまとまる

小嶋専門監に署名簿を手渡す鈴木会長



のはこの点しかない。
署名はそれを表してい
るものであり、しっか
り受け止めて再度検討
してほしい」と訴え
た。
署名簿を受け取った
小嶋専門監は、早けれ
ば今週中にも要望に対
する県の回答が与えら
れる見通しを示した。
県への要望に先立
ち、市役所も訪れ、避
難道の整備や防災集団
移転の早期着工などを
求める454人分の署
名簿も提出した。